

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成17年9月29日(2005.9.29)

【公開番号】特開2005-161752(P2005-161752A)

【公開日】平成17年6月23日(2005.6.23)

【年通号数】公開・登録公報2005-024

【出願番号】特願2003-405827(P2003-405827)

【国際特許分類第7版】

B 2 9 C 41/22

B 0 5 D 1/26

B 2 9 C 35/02

H 0 5 K 9/00

// B 2 9 K 21:00

B 2 9 K 105:16

B 2 9 K 105:24

【F I】

B 2 9 C 41/22

A

B 2 9 C 35/02

X

H 0 5 K 9/00

B 2 9 K 21:00

B 2 9 K 105:16

B 2 9 K 105:24

【手続補正書】

【提出日】平成17年7月15日(2005.7.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

次のA～Gの工程を備える充填材入りゴムフィルムの成形方法。

A．ゴムコンパウンドを溶剤により溶解させてゴム溶液を調製する工程、

B．前記ゴム溶液中に充填材を添加し攪拌することにより充填材入りゴム溶液を調整する工程、

C．A工程で得られたゴム溶液を離型紙上にスクリーン印刷法により塗布して第1の未架橋ゴム層を形成する工程、

D．B工程で得られた充填材入りゴム溶液を前記第1の未架橋ゴム層上にスクリーン印刷法により塗布して第2の未架橋ゴム層を積層する工程、

E．A工程で得られたゴム溶液を前記第2の未架橋ゴム層上にスクリーン印刷法により塗布して第3の未架橋ゴム層を形成する工程、

F．前記第1乃至第3の未架橋ゴム層を加熱して架橋成形する工程、

G．架橋成形した成形品から離型紙を剥離する工程。

【請求項2】

金属粉末混入ゴム層とこの金属粉末混入ゴム層の上下面の少なくとも一方に金属粉末を混入していないゴム層とを積層してなるゴムフィルムであって、前記金属粉末を混入していないゴム層をゴムコンパウンドを溶剤により溶解させてなるゴム溶液を塗布することに

より形成し、前記金属粉末混入ゴム層を前記ゴム溶液に金属粉末を混入した充填材入りゴム溶液を塗布することにより形成し、両者を加熱により架橋成形して一体化してなることを特徴とする充填材入りゴムフィルム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】充填材入りゴムフィルム およびその成形方法

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

すなわち、本発明は、次のA～Gの工程を備える充填材入りゴムフィルムの成形方法を要旨とするものである。

A．ゴムコンパウンドを溶剤により溶解させてゴム溶液を調製する工程、

B．前記ゴム溶液中に充填材を添加し攪拌することにより充填材入りゴム溶液を調整する工程、

C．A工程で得られたゴム溶液を離型紙上にスクリーン印刷法により塗布して第1の未架橋ゴム層を形成する工程、

D．B工程で得られた充填材入りゴム溶液を前記第1の未架橋ゴム層上にスクリーン印刷法により塗布して第2の未架橋ゴム層を積層する工程、

E．A工程で得られたゴム溶液を前記第2の未架橋ゴム層上にスクリーン印刷法により塗布して第3の未架橋ゴム層を形成する工程、

F．前記第1乃至第3の未架橋ゴム層を加熱して架橋成形する工程、

G．架橋成形した成形品から離型紙を剥離する工程。

また、本発明は、金属粉末混入ゴム層とこの金属粉末混入ゴム層の上下面の少なくとも一方に金属粉末を混入していないゴム層とを積層してなるゴムフィルムであって、前記金属粉末を混入していないゴム層をゴムコンパウンドを溶剤により溶解させてなるゴム溶液を塗布することにより形成し、前記金属粉末混入ゴム層を前記ゴム溶液に金属粉末を混入した充填材入りゴム溶液を塗布することにより形成し、両者を加熱により架橋成形して一体化してなる充填材入りゴムフィルムを要旨とするものである。